



# 大学における安全保障輸出管理

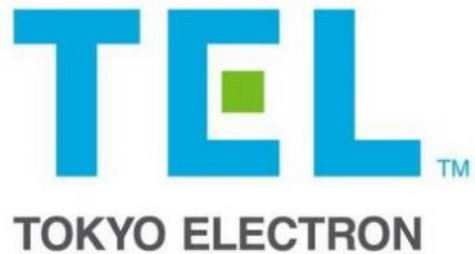
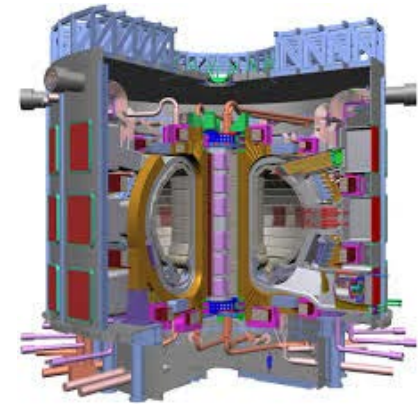
## - 徳島大学の事例を中心に -

徳島大学

研究支援・産官学連携センター・副センター長

准教授 井内健介

# 自己紹介



## 徳島大学での業務

- 産学官連携活動
  - リスクマネジメント
  - 四国国立5大学連携
- ・ 知財管理
  - ・ 技術移転
  - ・ ベンチャー支援
  - ・ 輸出管理
  - ・ 利益相反
  - ・ 契約
  - ・ ABS

# 目次

1. はじめに
2. 大学における安全保障輸出管理
  - 体制整備のポイント
  - 運用のポイント
3. 四国地域の安全保障輸出管理ネットワーク活動

問題： 税関は、輸出申告の審査に当たって、安全保障輸出管理に関するチェックを行なったか確認しなければならない。

# 大学等における輸出管理の必要性

## 文部科学省通知

平成18年 3月「大学及び公的研究機関における輸出管理体制の強化について」

平成21年11月「大学及び公的研究機関における輸出管理について」

平成27年 7月「大学等における安全保障貿易管理のための体制、意識啓発等について」高等教育企画課長名で事務連絡

## 外為法改正および輸出者等順守基準

平成21年11月施行：外為法改正（罰則強化、技術取引規制の見直し）

平成22年4月施行：輸出者等遵守基準

- 大学も「輸出者」（研究機材の海外持ち出し、留学生への技術指導等）
- 体制整備と適切な輸出管理実施等を義務づけ

平成29年10月施行：外為法改正（罰則強化）

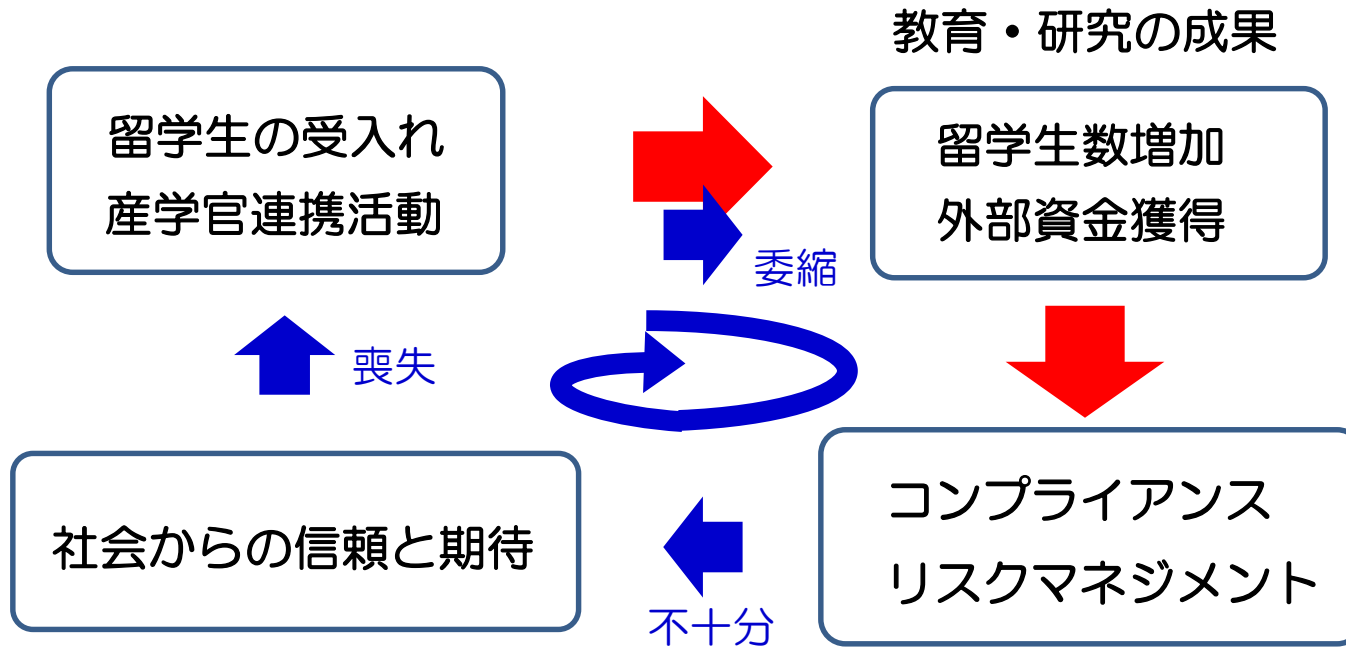
# 違法輸出に対する罰則

規制対象となる物・技術を許可を取らずに輸出・提供してしまうと、外為法に基づき、罰せられる場合がある。

刑事罰	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 懲罰：10年以下の懲役</li><li>・ 罰金：（個人）3000万円以下 （法人） 10億円以下</li></ul> ただし、当該違反行為の目的物の価格の5倍が3000万円又は10億円を超える場合は大きい方
行政制裁	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 3年以内の貨物輸出・技術提供の禁止</li><li>・ 輸出入を禁止された個人が、別法人で禁止された輸出入を行うことを禁止</li></ul>
社会的制裁	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 組織イメージの悪化</li><li>・ 信用失墜による社会的制裁 など</li></ul>

これらの罰則は、**役務取引、貨物の輸出を行った個人、当該個人が所属する法人ともに対象になる。**

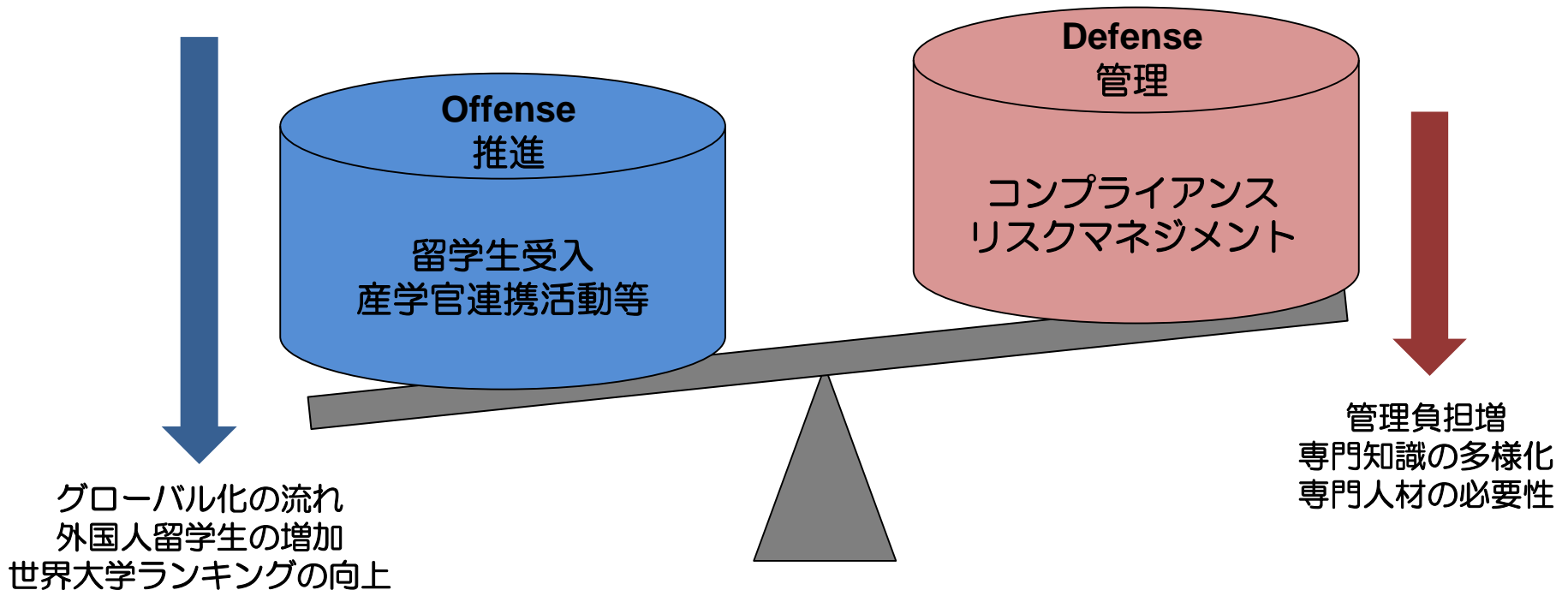
# 大学の活動に関するスパイラル



- 適切なリスクマネジメント体制を整備し、ポジティブなスパイラルを生み出すことができる**大学組織を構築することが必要**

# 大学における強い組織体制の実現

- しかし、大学における予算や人的リソースは限られている。（特に地方大学、中小規模大学）



- バランスを維持するためには、**大学のビジョンを策定**し、人材の配置等、限られたリソースを効果的、効率的にマネジメントする必要がある。



# 目次

1. はじめに
2. 大学における安全保障輸出管理
  - 体制整備のポイント
  - 運用のポイント
3. 四国地域の安全保障輸出管理ネットワーク活動

# 徳島大学 基礎データ



※平成30年

教員数	985
職員数	1,456
学生数	7,643 学部学生：6,033 大学院学生：1,610
留学生数	264 (26カ国)
学術交流協定校数	88大学 (27カ国)

学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合科学部</li> <li>・医学部</li> <li>・歯学部</li> <li>・薬学部</li> <li>・理工学部</li> <li>・生物資源産業学部</li> </ul>
大学院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合科学教育部</li> <li>・医科学教育部</li> <li>・口腔科学教育部</li> <li>・薬科学教育部</li> <li>・栄養生命科学教育部</li> <li>・保健科学教育部</li> <li>・先端技術科学教育部</li> </ul>

# 徳島大学における輸出管理体制づくりの経緯

- 平成21年 8月 : 当時の産学官連携推進部（現研究支援・産官学連携センター）佐竹教授が特定非営利活動法人産学連携学会において、安全保障貿易管理に関するガイドラインの策定に携わる。
- 平成21年10月 : 学内体制構築に向けて佐竹先生準備開始
- 平成22年 7月~ : 輸出管理体制構築に向けた検討  
内容：予算確保、WGの設立、学内管理の流れ、審査フロー、規則、他大学の調査（九州工業大学、名古屋大学）、学内啓蒙活動等  
学長・担当理事が担当部門の設置を指示
- 平成23年 7月 : 輸出管理WGの設置
- 平成23年 9月 : 産学官連携推進部に安全環境管理部門を設置
- 平成23年11月 : 事務職員向け安全保障輸出管理説明会
- 平成23年12月 : 安全保障輸出管理規則を施行  
留学生への技術提供等の調査
- 平成24年 3月 : 教職員向け安全保障輸出管理説明会  
安全環境管理部門レター発行開始
- 平成24年 4月 : 全学実施 ~現在に至る

# 徳島大学の規則

## 徳島大学安全保障輸出管理規則

平成23年11月16日  
規則第22号制定

### 第1章 総則

#### (目的)

第1条 この規則は、徳島大学（以下「本学」という。）における安全保障輸出管理（以下「輸出管理」という。）の適切な実施について必要な事項を定め、もって国際的な平和及び安全の維持並びに学術研究の健全な発展に寄与することを目的とする。

#### (適用範囲)

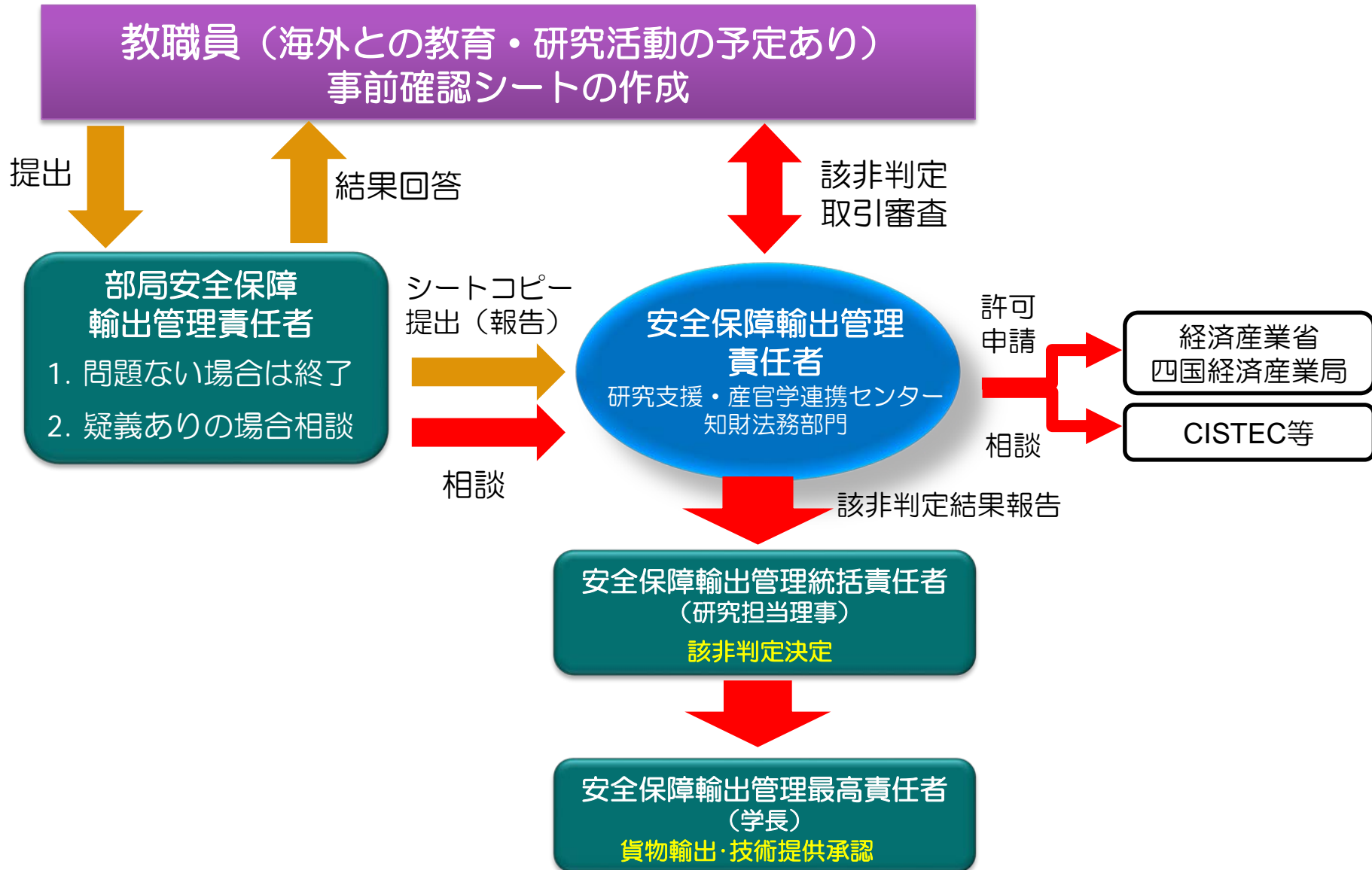
第2条 この規則は、本学の役員及び職員（以下「職員等」という。）が行うすべての技術の提供及び貨物の輸出に関する業務に適用する。

#### (基本方針)


第4条 本学における輸出管理の基本方針は、次の各号のとおりとする。

- (1) 国際的な平和及び安全の維持を妨げるおそれがあると判断される取引は行わないこと。
- (2) 輸出管理を適切に実施するため、輸出管理の責任者を定めるとともに、輸出管理に係る体制の整備及び充実を図ること。

# 学内における輸出管理体制・流れ



# 輸出管理体制整備のフロー

フロー	大学の キーパーソン
トップへの説明	
体制・規程整備	
全学周知・説明	
運用開始	

# 経済産業省による取組み

<http://www.meti.go.jp/policy/anpo/daigaku.html>



## 目次

- ・[安全保障貿易に係る機微技術管理ガイダンス\(大学・研究機関用\)第三版\(平成29年10月公表\)](#)
- ・[アドバイザー派遣事業のご案内\(大学・研究機関向け\)](#)
- ・[大学・研究機関の教職員向けe-ラーニング](#)
- ・[「大学・研究機関向け説明会」開催のご案内](#)
- ・[過去の「大学・研究機関向け説明会」の資料](#)
- ・[安全保障貿易管理に関するリーフレット](#)
- ・[参考](#)

# 安全保障貿易に係る機微技術管理ガイドンス (大学・研究機関用)

安全保障貿易に係る機微技術管理ガイドンス  
(大学・研究機関用)  
第三版




平成29年10月

経済産業省  
貿易管理部

- I 本ガイドンスの目的・使い方
- II 安全保障輸出管理制度
- III 規制対象となる技術の提供等
- IV 技術の提供・貨物の輸出の確認手続き
- V 個々のケースの確認手続き
- VI 組織体制の整備・運用
- VII 平成29年度外為法一部改正について
- VIII 大学関係者等からの主な質疑の例
- IX 規定・帳票の例**
- X 問合せ窓口等



# アドバイザー派遣事業

フロー	大学の キーパーソン	安全保障貿易管理 自主管理促進 アドバイザー (経済産業省事業)
 <p>トップへの説明</p> <p>体制・規程整備</p> <p>全学周知・説明</p> <p>運用開始</p>	主担当 	体制整備・効果的運用 構築の伴走支援 

大学等で管理体制構築・運用を行ってきた経験を有するアドバイザーが安全保障貿易管理体制の構築・運用に関する相談に対応。(無償)

# 目次

1. はじめに
2. 大学における安全保障輸出管理
  - 体制整備のポイント
  - 運用のポイント
3. 四国地域の安全保障輸出管理ネットワーク活動

# 徳島大学における教職員の手続きの流れ

## ① 海外との教育・研究活動の予定あり

外国人研究者の受入

貨物輸出・技術提供

海外の機関等との  
共同研究、受託研究

留学生等の受入

外国出張・外国研修

**注意点：その行為を行う前（受入れる前）に手続きが必要**

② 事前確認シート（最新版）をHPからダウンロード

徳島大学  
研究支援・産官学連携センター  
知財法務部門のHP  
<http://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/>

③ 事前確認シートを作成

④ 事前確認シートを提出

# 事前確認シートのダウンロード



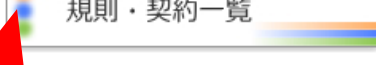
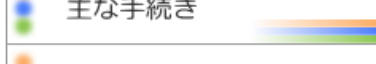
徳島大学

研究支援・産官学連携センター

Center for Research Administration & Collaboration



産学連携支援マッチング情報システム



新着情報

イベント情報

公募情報

- ・ [【安全保障輸出管理レター№.0027】パンフレットの改訂と英語版の完成およびe-ラーニングのお知らせ](#) (2018年6月25日)
- ・ [【挑戦者募集】「未来博士3分間コンペティション2018」学内選考会のお知らせ](#) (2018年5月31日)
- ・ [【受講生募集】平成30年度 地域産業人材育成講座 開講のお知らせ](#) (2018年5月31日)
- ・ [平成30年度 安全保障輸出管理説明会<7/6開催>](#) (2018年5月25日)
- ・ [【学内公募】平成30年度 産学連携研究者育成支援事業公募開始<締切6/18 17時>](#) (2018年5月21日)

RSS

Atom

>> 新着情報一覧へ

クリック



徳島大学研究支援・産官学連携センター

このページに「いいね!」 145 「いいね!」の数

全講座リニューアル

平成30年度

## 徳島大学

### 地域産業人材育成講座

次世代の  
人材の  
活性

# 事前確認シートのダウンロード

発明相談・特許相談 >

利益相反の相談 >

安全保障輸出管理 >

秘密保持契約・誓約 >

研究成果有体物 >

公募事業のご案内 >

研究室のご案内 >

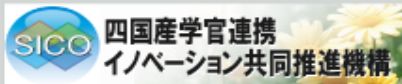
各種支援 >

会議室予約 >



お問い合わせ

リサーチ・アドミニストレーション部門



産学連携支援マッチング情報システム



## 教員等の海外活動における注意点

[安全保障輸出管理ページへ戻る](#)

教員等の皆様へ：国際的な活動における注意点

- 下記の様な海外との研究活動は、各部署責任者に届出が必要です。

### ■ 事前確認シート

[貨物の輸出・技術の提供](#) (Word) NEW

※上記資料提出後、提出を依頼された場合にこちらの資料をご提出下さい。

[貨物・技術の該非判定・取引審査票](#) (Word) NEW

2017/05/01更新

[海外機関等との共同研究等](#) (Word) NEW

2017/05/01更新

[外国人研究者等の受入れ](#) (Word) NEW

2017/05/01更新

[外国人留学生の受入れ](#) (Word) NEW

→ [記入例](#) (PDF)

2017/05/01更新

2015/4/13更新

[海外出張・海外研修](#) (Word) NEW

→ [記入例](#) (PDF)

2017/05/01更新

2017/05/01更新

※上記リンク先すべて【学内限定】です。

該当する様式（最新版）をダウンロードする。

# 運用上の特徴：5種類の事前確認シート

## 輸出管理の対象

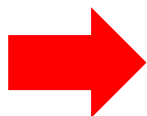
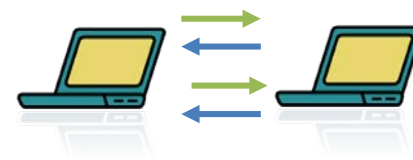
貨物の輸出  
(外為法第48条)

技術の提供  
(外為法第25条)

### ◆事前確認シートの様式（5種類）◆



- 貨物輸出・技術提供用
- 海外機関等との共同研究等
- 留学生受入用
- 外国人研究者等の受入れ用
- 外国出張・外国研修用



大学での活動に事前確認シート名称を合わせている。  
活動をひとまとまりで申請することが可能。

# 事前確認シートの作成（外国出張・外国研修用）

2017.4.27改訂

提出年月日:平成 年 月 日

## 事前確認シート〔外国出張・外国研修用〕

書類の提出先：部局責任者

提出対象者：教職員

学生については、指導教員の管理のもとで出張を行ってください。

本書類の項目1、項目3、項目4、は必ず記入してください。項目2、については記入する代わりに旅行命令・依頼書を添付して提出して頂いても結構です。

### 1. 外国

## 1. 外国出張者・外国研修者

申請者職名	
所属	
電話（内線）	E-Mail

### 2. 相手先について

## 2. 相手先について

相手先国名	
相手先機関名	
相手先の担当者 (学会参加の場合は記入不要です)	1) 所属
	2) 職名
	3) 氏名
	4) 相手先との関係
出張又は研修期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 ( 年 月 日 )

### 3. 外国出張先・外国研修先での用務について

## 3. 用務について

1) 出張又は研修内容における技術内容	(A) 当てはまるものを選んでください。 <input type="checkbox"/> 国際学会・会議 <input type="checkbox"/> 国際展示会・見本市・商談会 <input type="checkbox"/> 学術交流協定 <input type="checkbox"/> 共同研究 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	(B) 研究内容・学会内容・調査内容が詳しくわかるように記入してください。また、参考資料（概要、発表内容（要旨）、計画内容、調査内容がわかるもの）を添付してください。
(注) 添付資料が無く、出張又は研修内容等に不明瞭な部分がありましたら、再度ご連絡させていただくことがあります。	
2) 出張又は研修先に、物品又は技術（情報）の提供がある場合は、物品名又は技術名を下記に全て記入してください。	

(注) 海外への貨物・技術の持ち出し、提供がある場合には、部局責任者に相談してください。既知の技術・通常市販の貨物は必要ありません。

2017.4.27改訂

### 4. 確認項目

※該当する項目の口必ずチェックを入れてください

1	相手先は、ホワイト国ですか？	ベルギー・ブルガリア・カナダ・チェコ・タリア・大韓民国・ルクセンブルク・オランダ・スイス・英国・アメリカ合衆国の27カ	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
2	相手先は、懸念国、または国連武器禁輸国・地域ですか？	懸念国とは、イラン・イラク・北朝鮮をいり、国連武器禁輸国・地域とは、アフガニスタン・中央アフリカ・コンゴ民主共和国・エリトリア・イラク・レバノン・リビア・北朝鮮・ソマリア・スーダンをいう。	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい
3	相手先は、外国ユーザーリストに掲載されている企業・機関ですか？	外国ユーザーリストに掲載されている企業・機関が属している国・地域は、アフガニスタン・アラブ首長国連邦・イスラエル・イラン・インド・北朝鮮・シリア・台湾・中国・パキスタン・香港の11カ国です。これらの国・地域に該当する場合、外国ユーザーリストに掲載されている企業・機関かどうか、経済産業省安全保障貿易管理HPからご確認ください。 <a href="http://www.meti.go.jp/policy/arms/index.html">http://www.meti.go.jp/policy/arms/index.html</a>	<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい
4	相手先は、以下のいずれかに該当しますか？		<input type="checkbox"/> いいえ	<input type="checkbox"/> はい
	① 研究分野や内容を変更したり、機関に所属を変更（転職を繰り返す等）する等、相手先の技術提供を受ける者に不審な点がある。			<input type="checkbox"/> はい 該当又は懸念がある番号： ( )
	② 相手先の技術提供を受ける者が、将来、軍事関連部門や軍需企業に就職することを入手した文書等によって知っている。			
	③ 提供技術が、兵器等の開発に用いられる、または用いられる疑いがある。または、相手先が兵器等の開発、製造、貯蔵を行っていることが、得られた情報から明らかである。			
	④ 入手した情報等によって、提供技術が、核融合に関する研究、核燃料物質や原子炉等の開発・製造・使用等に用いられる、または用いられる疑いがあることを知っている。			
	⑤ 入手した情報等によって、提供技術が、外国の軍若しくは警察又はこれらの者から委託を受けた者により、化学物質・微生物・毒物の開発等、ロケット若しくは無人航空機の開発等、宇宙に関する研究に用いる、または用いられる疑いがあることを知っている。			

(注) 網掛けにチェックが入った場合は、計画段階で部局責任者と相談してください。

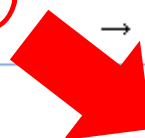
部局等確認欄		研究支援・産官学連携センター確認欄		
(事前確認No. )		(事前確認No. )		
部局責任者	部局等担当者	輸出管理 統括責任者	輸出管理 責任者	安全環境管理 担当者
年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
印	印	印	印	印
上記、事前確認の内容を確認する。 (※該当する項目の口必ずチェックを入れてください)		上記、事前確認の内容を確認する。		
<input type="checkbox"/> 出張・研修可 <input type="checkbox"/> 該非判定・取引審査の手続きを要する <input type="checkbox"/> 不明・疑義 ((以下、【理由】欄に必ず記載すること。)) 研究支援・産官学連携センター 知財法務部門に相談		<input type="checkbox"/> 出張・研修可 <input type="checkbox"/> 該非判定・取引審査の手続きを要する		
【理由】		【理由】		

# 事前確認シートのダウンロード

- 下記の様な海外との研究活動は、各部署責任者に届出が必要です。

■ 事前確認シート	
<a href="#">貨物の輸出・技術の提供</a> (Word) <b>NEW</b> ※上記資料提出後、提出を依頼された場合にこちらの資料をご提出下さい。 <a href="#">貨物・技術の該非判定・取引審査表</a> (Word)	2016/11/7更新
<a href="#">海外機関等との共同研究等</a> (Word) <b>NEW</b>	2016/11/7更新
<a href="#">外国人研究者等の受入れ</a> (Word) <b>NEW</b>	2016/11/7更新
<a href="#">外国人留学生の受入れ</a> (Word) <b>NEW</b>	2016/11/7更新
<a href="#">海外出張・海外研修</a> (Word) <b>NEW</b>	2016/11/7更新
	→ <a href="#">記入例</a> (PDF) 2015/4/13更新
	→ <a href="#">記入例</a> (PDF) 2015/4/14更新

クリック



※上記リンク先すべて【学内限定】です。

- 上記活動で最も注意が必要なのは、下記の点です。



# 外国出張・研修 事前確認シート：記入注意点

## 技術内容の記入を

国際会議の内容は？発表の内容は？

ここでは、用務内容ではなく、技術内容の記入をお願いします。この文章では、どのような技術を発表するのが不明確であり、外為法上の判断ができません。

<p>1) 出張又は研修内容における技術内容</p>	<p>(A)当てはまるものを選んでください。  <input type="checkbox"/>国際学会・会議 <input type="checkbox"/>国際展示会・見本市・商談会 <input type="checkbox"/>学術交流協定 <input type="checkbox"/>共同研究  <input type="checkbox"/>その他( )                  (B)研究内容・学会内容・調査内容が詳しくわかるように記入してください。また、参考資料(概要、発表内容(要旨)、計画内容、調査内容がわかるもの)を添付してください。</p> <p style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; display: inline-block;">国際会議NDTに参加・発表のため。</p> <p><small>注)添付資料がなく、出張又は研修内容等に不明確な部分がありましたら、再度ご連絡させていただくことがあります。</small></p>
<p>2)出張又は研修先に、物品又は技術(情報)の提供が有る場合は、物品名又は技術名を下記に全て記入してください。</p>	<div style="border: 1px dashed blue; height: 40px;"></div>

## 記入例

<p>1) 出張又は研修内容における技術内容</p>	<p>(A)当てはまるものを選んでください  <input checked="" type="checkbox"/>国際学会・会議 <input type="checkbox"/>国際展示会・見本会・商談会 <input type="checkbox"/>学術交流協定 <input type="checkbox"/>共同研究  <input type="checkbox"/>その他( )                  (B)研究内容・学会内容・調査内容が詳しく分かるように記入してください。また、参考資料(概要、発表内容(要旨)、計画内容、調査内容が分かるもの)を添付してください。</p> <p style="border: 1px dashed green; padding: 5px;">                     本学会の名称は、NDT(Networked Digital Technologies)であり、ネットワーク技術を用いたデジタル技術に関する国際会議である。                      この会議において、ネットワーク技術を用いた教育・学習環境について発表を行う予定である。具体的には、次世代のe-Learning環境として、日常生活での学習の体験映像をラーニングログとして蓄積し、他の学習者と共有することで、知識やスキルの獲得を支援する強調学習の情報基盤開発について発表する。                 </p> <p><small>注)添付資料がなく、出張又は研修内容等に不明確な部分がありましたら、再度ご連絡させていただくことがあります。</small></p>
<p>2)出張又は研修先に、物品又は技術(情報)の提供が有る場合は、物品名又は技術名を下記に全て記入してください。</p>	<p style="border: 1px dashed green; padding: 5px; display: inline-block;">特になし</p>

物品又は技術の提供がない場合も「特になし」との記入をお願いします。

# 各部局等の問い合わせ先及び事前確認シートの提出先

## (留学生以外)

### (1) 常三島地区

研究者の所属	担当窓口
総合科学部	常三島事務部 総合科学部事務課 総務係
理工学部	常三島事務部 理工学部事務課 総務係
生物資源産業学部	常三島事務部 生物資源産業学部事務課 総務係
教養教育院	学務部 教育支援課 専門職員(教養教育担当)
大学開放実践センター	研究・社会連携部 地域創生課 生涯学習係
情報センター	学術情報部 情報企画課 企画運営係
国際センター	学務部 国際課 国際企画係
環境防災研究センター	研究・社会連携部 産学連携・研究推進課 研究推進係
地域創生センター	研究・社会連携部 地域創生課 社会貢献係
研究支援・産官学連携センター	研究・社会連携部 産学連携・研究推進課 産学連携係
総合教育センター	学務部 教育支援課 総務係
教職教育センター	学務部 教育支援課 教務・情報係
創新教育センター	学務部 教育支援課 総務係
保健管理・総合相談センター	学務部 学生支援課 学生支援係

### (2) 蔵本地区

研究者の所属	担当窓口
医学部	蔵本事務部 医学部総務課 総務係
歯学部	蔵本事務部 歯学部事務課 総務係
薬学部	蔵本事務部 薬学部事務課 総務係
病院	病院事務部 総務課 総務係
先端酵素学研究所	研究・社会連携部 先端酵素学研究所事務課 総務係
放射線総合センター	
埋蔵文化財調査室	施設マネジメント部 施設企画課 施設総務係

## (留学生)

### (1) 常三島地区

研究者の所属	担当窓口
総合科学部	常三島事務部 総合科学部事務課 総務係
理工学部	常三島事務部 理工学部事務課 学務係
生物資源産業学部	常三島事務部 生物資源産業学部事務課 学務係

### (2) 蔵本地区

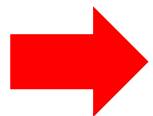
研究者の所属	担当窓口
医学部	【医学科及び医科栄養学科】 蔵本事務部 医学部学務課 第一教務係(学部業務担当)
	【保健学科及び大学院保健科学教育部】 蔵本事務部 医学部学務課 第二教務係
	【大学院医科学教育部及び大学院栄養生命科学教育部】 蔵本事務部 医学部学務課 第一教務係(大学院業務担当)
歯学部	蔵本事務部 歯学部事務課 学務係
薬学部	蔵本事務部 薬学部事務課 学務係

# 事前確認シート提出状況

	留学生	研究者	共同研究等	出張・研修	貨物・技術
平成25年度	30	64	2	723	9
平成26年度	35	89	0	813	11
平成27年度	82	103	2	765	16
平成28年度	60	48	1	769	9
平成29年度	136	85	0	854	10

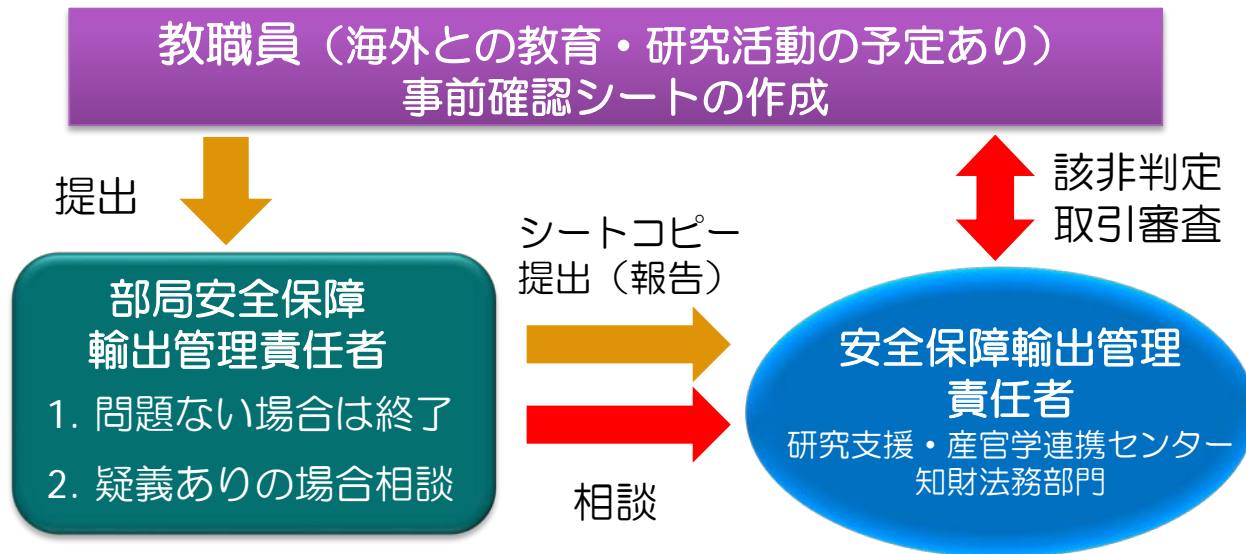
## 運用上の特徴

- 事務業務の中で海外との取引を顕在化
  - ・ 海外出張手続き
  - ・ 留学生の受入れ手続き
  - ・ 有体物提供契約
  - ・ 共同研究・受託研究契約
- 出張時の事前確認シートは手続き上、出張者全員が提出必要



継続的に、研究者の幅広い活動を把握でき、研究者への意識づけも可。

# 知財法務部門の業務内容



■事前確認シート提出件数

平成26年度	948
平成27年度	968
平成28年度	887
平成29年度	1085

■教員ヒアリング 件数

平成26年度	8
平成27年度	5
平成28年度	9
平成29年度	5

■該非判定・取引審査 件数

平成26年度	34
平成27年度	11
平成28年度	8
平成29年度	7

## 運用上の特徴

- 知財法務部門で、事前確認シートの内容をダブルチェック
- 国際課から留学生リストを、財務部調達係から保有物品リストを入手し、ダブルチェック

# 該非判定・取引審査について

貨物の輸出  
(外為法第48条)

技術の提供  
(外為法第25条)

規制方法

## リスト規制

大量破壊兵器や通常兵器の開発・製造・使用又は貯蔵に用いられる貨物・技術をリストにして規制している。

## キャッチオール規制

大量破壊兵器や通常兵器の開発等に用いられるおそれがある場合に規制対象となる。(品目ではなく用途に着目。懸念用途であればすべての品目に係る)

該当の場合

経済産業省へ許可申請が必要

# 徳島大学の事例

## 該非判定（貨物）の事例

- GaN系半導体基板（工学部）
- マイクロ波用機器若しくはその部分品又はミリ波用機器の部分品（工学部）
- 炭素繊維、有機繊維、無機繊維（工学部）
- EM-CCDカメラ（工学部）
- プラスミドDNA（工学部）
- 攪拌機（歯学部）
- 無人航空機、ドローン（工学部）
- ニューラルネットワークを用いた集積回路（理工学部）
- レーザー発振器（理工学部）

## 運用上の特徴

- 事前確認シートのチェック、ヒアリングを繰り返し、各研究室のリスク度を把握。

# 貨物の輸出と技術の提供の相談・問合せ比率

平成29年度大学等向け安全保障貿易管理説明会 立命館大学 石田英之氏 資料より

大学	貨物の輸出	技術の提供（役務）
信州大学（H26年度）	14%	86%
九州工大（H26年度）	38%	62%
東北大学（H26年度）	39%	61%
京都大学（H27年度）	29%	71%
大阪大学（H28年度）	36%	64%
立命館大学（H28年度）	15%	85%
<b>徳島大学（H29年度）</b> ※事前確認シート数から算出	<b>0.7%</b>	<b>99.3%</b>

- 大学においては企業と異なり、技術の提供（役務取引）の比率が圧倒的に高い。
- 技術の提供の中でも、留学生・外国人研究者等の受入れは判断が難しい。

# 徳島大学における留学生管理

- 徳島大学では、入国後6か月を超える場合も居住性にかかわらず、輸出管理上のチェックを行っている。

入口管理

入学時

- 受入前に事前確認シートの作成・提出

中間管理

研究実施時

- 研究内容や身分が変わる場合に、再度、事前確認シートの作成・提出。


出口管理

終了・帰国時

- 貨物の持出しがある場合等、必要に応じて、事前確認シートの作成・提出。



# 参考：徳島大学における留学生・入口管理

留学入学 の形態	入学先		 手続の流れ					留学生管理
	学部	大学院	本部 入試課	学部 入試委員会	研究支援・産官 学連携センター 輸出管理 確認	教授会 判定	学長 決済	国際課 在籍留学生 管理
一般入学	○	×	○	○	○	○	○	○
私費留学入試	○	×	○	○	○	○	○	○
推薦入学	○	×	○	○	○	○	○	○
帰国子女	○	×	○	○	○	○	○	○
編入学	○	×	△	○	○	○	○	○
国費留学	○	○	×	○	○	○	○	○
交換留学	○	○	×	○	○	○	○	○
DD留学	×	○	×	○	○	○	○	○
研究生	○	×	△	○	○	○	○	○
大学院入試	×	○	△	○	○	○	○	○

- 入学を判定する教授会で、輸出管理に関する内容を含め審議。

# 知財法務部門での業務

## 【部門内業務】

- 事前確認シートの事務処理（取りまとめ・管理）
- 必要書類の改訂
- 安全保障輸出管理に関する会議

## 【フィールドワーク】

- 教職員へのヒヤリング
- 該非判定・取引審査の支援
- 問い合わせへの対応

## 【普及・啓発活動】

- 説明会及び講演会の企画運営
- HP運営
- 安全環境管理部門レター発行
- パンフレット作成
- 他機関が開催する輸出管理に関するイベントへの参加（CISTEC、他大学、経済産業省、等）

# 普及・啓発活動の実施

## 学内説明会

- 新規採用教職員向け説明会
- 教職員向け説明会、分野別説明会



(H29年7月21日)



(H30年7月6日)

教職員向け説明会

# 普及・啓発活動の実施

## 啓発活動の実施

- 安全保障輸出管理のHP（日本語・英語）
- パンフレット（日本語・英語）
- 教職員向けe-learning（経済産業省e-learningをリンク）
- 安全保障輸出管理レター発行

The screenshot shows the homepage of the Tokushima University Center for Research Administration & Collaboration. The main navigation bar includes 'トップ', 'センターの紹介', '学外の方へ', '学内の方へ', and 'イベント・広報'. A sub-navigation bar for '学内の方へ' includes '研究支援・特許情報', '利益相反の相談', '安全保障輸出管理', '秘密保持契約・誓約', '研究成果の有様', '公事業業のご案内', '研究室のご案内', '各種支援', and '会議室予約'. The '安全保障輸出管理' section is highlighted. The main content area features a heading '安全保障輸出管理' and a sub-heading '徳島大学における安全保障輸出管理'. Below this, there is a detailed text block explaining the university's export control policies, including the appointment of a Security Export Control Officer and the implementation of a Security Export Control Regulation (effective April 1, 2017). A '注意点について' (Notes) section at the bottom mentions the addition of a pre-confirmation sheet for international activities.

安全保障輸出管理のHP

The pamphlet cover features the title '徳島大学 安全保障輸出管理 国際的な教育研究活動支援' (Tokushima University Security Export Control International Education Research Activity Support). Below the title is a photograph of a person working at a computer. The text on the cover includes the university's name and a sub-heading '安全・安心な国際的教育研究活動を支えるための組織的な輸出管理の取り組み' (Organizational measures for export management to support safe and secure international education research activities). At the bottom, it identifies the publisher as the Center for Research Administration & Collaboration, Faculty of Law, Tokushima University.

パンフレット

The letter cover is titled '知財法務部門 安全保障輸出管理レター' (Intellectual Property and Legal Department Security Export Control Letter). It includes a sub-heading '事前確認シート及び該非判定・取引審査票の改正について' (Regarding the revision of the pre-confirmation sheet and the determination of non-compliance and transaction review). The letter is dated 平成27年4月15日 (April 15, 2015). It lists several key points: the revision of the foreign user list, the revision of the pre-confirmation sheet, and the revision of the transaction review form. It also includes a link to the pre-confirmation sheet and a note about the revision of the determination of non-compliance and transaction review form. At the bottom, it provides contact information for the Intellectual Property and Legal Department.

安全保障輸出管理レター

# 輸出管理担当人材の教育

## 一般財団法人安全保障貿易情報センター（CISTEC）

CISTECは、安全保障輸出管理に関する総合的支援のための非営利法人

### ・ CISTEC研修会

コース		研修会名称		
①輸出管理全般	基礎コース	1	春期基礎コース	
			秋期基礎コース	
	実務演習コース	2	該非判定	
			3	取引審査/監査・指導
				輸出管理の基礎/該非判定/取引審査
	体制構築コース	責任者のための体制構築コース		

コース	研修会名称
②分野別 (≡項番別)	核・原子力関連
	化学兵器・生物兵器製造装置関連
	先端材料
	材料加工
	エレクトロニクス
	コンピュータ/通信・情報セキュリティ
	センサー・レーザー・航法
	船舶機器・海洋センサー
③海外法制度	化学製剤関連/別表第2
	米国再輸出規則
	欧州の法制度
	アジアの法制度

# CISTEC大学向けサービス

徳島大学はCISTECの「大学会員」及び「大学向けCHASER情報」に入会中。

## 大学会員

年度会費（暫定）：21万円（税込）

サービス内容：（1）基礎的書籍、CISTECジャーナルの無償提供  
（2）基礎的セミナーの無償参加  
（3）輸出管理相談の無償受付（年間15件まで）  
（4）講師の無償派遣（年1回）  
（5）賛助会員コーナーのご利用（無償）  
（6）利用可能な賛助会員向け限定サービス  
（7）懸念企業・組織等の情報サービスの提供（有料）  
（8）上記以外に、専門的・実務的なセミナー開催や出版物発行、総合データベース（該非判定コーナー、法令コーナー、ガイダンスコーナー）等のサービスは、一般向け料金にてご利用可能

## 大学向けCHASER情報

料金：年間 38,880円（税込）

- （1）国内外の公的機関等が安全保障関連の何らかの懸念があるものとして公表している組織の名称（別名を含む）
- （2）何らかの軍事研究等に関係があると考えられる組織のうち、大学、研究機関を抽出した、その名称（別名を含む）をリスト化したもの

# 輸出管理に要するエフォート

## 研究支援・産官学連携センター 知財法務部門

職名	担当者	エフォート
安全保障輸出管理責任者	知財法務部門長	20%
専任職員	客員教授（週2日勤務）	90%

その他、電話対応、事前確認シート管理、システム入力等は事務補佐員等が実施

- 徳島大学では、企業出身の客員教授が該非判定・取引審査を主に担当。  
（専門知識を持つ担当者確保するのは困難な場合が多い）
- その他、各部局においても輸出管理業務が必要。

# 輸出管理体制整備・運用までのフロー

	大学の キーパーソン	安全保障貿易管理 自主管理促進 アドバイザー (経済産業省事業)	一般財団法人 安全保障貿易情 報センター (CISTEC)
<p>トップへの説明</p> <p>体制・規程整備</p> <p>全学周知・説明</p> <p>運用開始</p>	<p>主担当</p> <p>↓</p> <p>専門人材</p> <p>↓</p>	<p>体制整備・効果的運用 構築の伴走支援</p> <p>↓</p>	<p>専門的支援 (有料)</p> <p>↓</p>



# 目次

1. はじめに
2. 大学における安全保障輸出管理
  - 体制整備のポイント
  - 運用のポイント
3. **四国地域の安全保障輸出管理ネットワーク活動**

# 四国地域クイズ

## Shikoku Area



### 人口（2016年）

徳島県	75.0万人
香川県	97.2万人
愛媛県	137.5万人
高知県	72.1万人
<b>四国</b>	<b>381.8万人</b>

大阪府	883.8万人
兵庫県	552.1万人
広島県	283.8万人

### 域内総生産（2013年）

徳島県	2兆9371億円
香川県	3兆6470億円
愛媛県	4兆7767億円
高知県	2兆2627億円
<b>四国</b>	<b>13兆6234億円</b>

（日本のGDPの2.7%）

大阪府	37兆3150億円
兵庫県	19兆2325億円
広島県	10兆8429億円

問題：四国地域の国立大学で教員数が一番多い大学は？

# 四国地域の国立大学の比較

正解：

大学名	徳島大学	鳴門教育大学	香川大学	愛媛大学	高知大学
教員数					
職員数					
学生数					
学部					

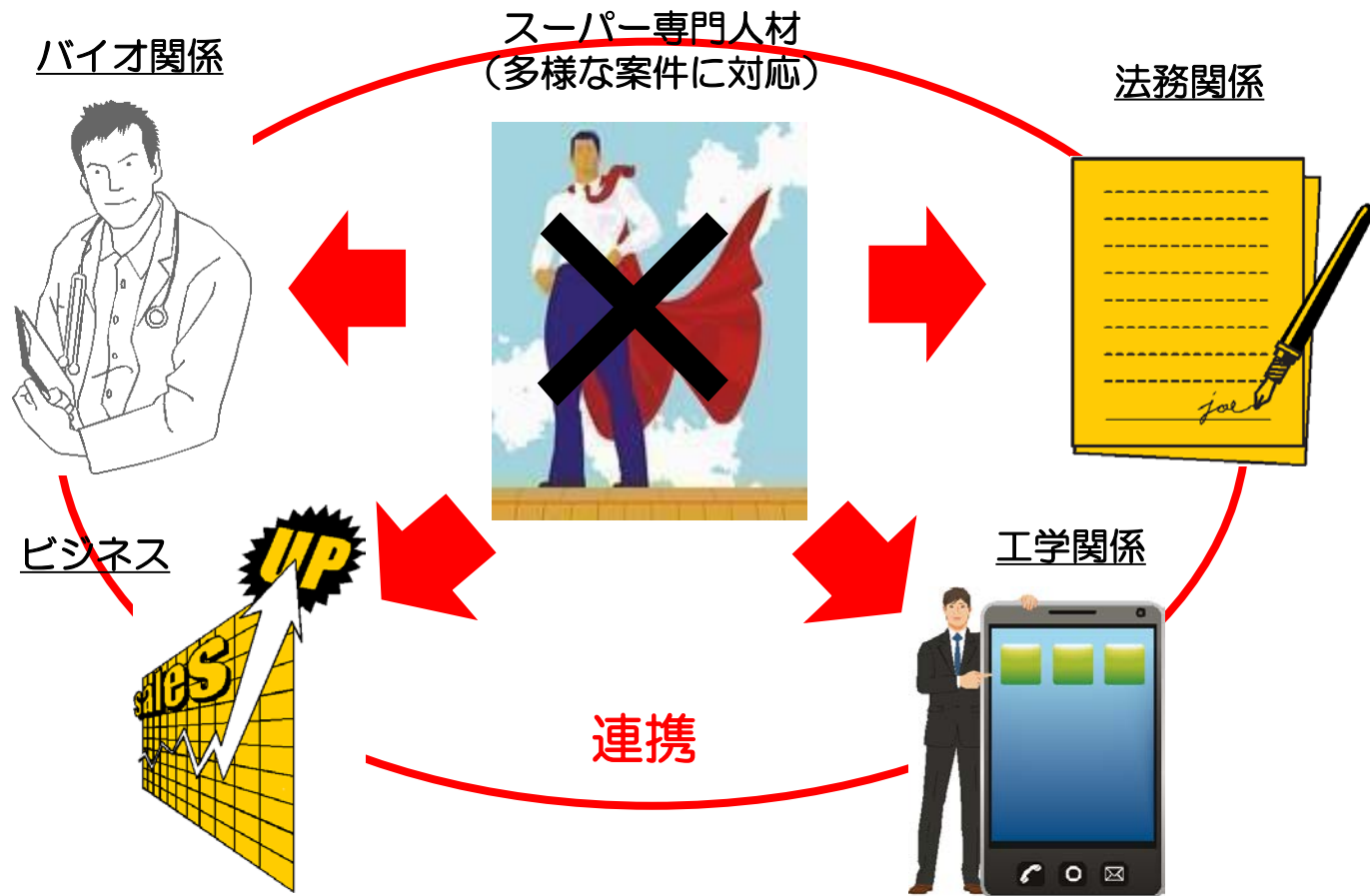
# 四国地域を取り巻く状況

- 2012年度文部科学省の国立大学改革強化推進事業として、「四国5大学連携による知のプラットフォーム形成事業」が採択される。
- 四国産学官連携イノベーション共同推進機構（SICO）が発足し、四国5国立大学の産学官連携業務（法務支援含む）を統合・一元化



# 専門人材の活用

- 大学では多様な技術を取り扱わなければならない。
- 限られた人数で対応しなければならない。



- 足りない知識・情報を補うため、外部機関との連携が必要。

# 四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク

## 目的

「各大学で実施している安全保障輸出管理の業務についての問題点を共有し、先進的な取り組みについて学習するなど、共同して大学における輸出管理の仕組みを構築するための勉強会」として四国地区大学安全保障輸出管理ネットワークを実施している。

※ 九州地区大学安全保障輸出管理ネットワークを参考にしている。

# 活動状況（1）

## 第1回四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク

日程：2013年9月10日 場所：徳島大学 産学官連携プラザ

【基調講演】 題目：九州大学の輸出管理の取組状況並びに九州地域大学安全保障輸出管理ネットワークの活動について

講師：九州大学国際法務室・安全保障輸出管理担当 佐藤 弘基 氏

【キックオフミーティング】

参加大学：徳島大学、鳴門教育大学、愛媛大学、高知大学、香川大学、九州大学

## 第2回四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク

日程：2013年11月06日 場所：徳島大学 産学官連携プラザ

【講演】 題目：大学における安全保障輸出管理制度について

講師：一般財団法人安全保障貿易情報センター（CISTEC）輸出管理アドバイザー 森本 正崇 氏

参加大学：徳島大学、鳴門教育大学、愛媛大学、高知大学

## 第3回四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク

日程：2013年12月11日 場所：九州大学

【講演】 題目：大学における安全保障輸出管理制度について

講師：政府関係者

参加大学：徳島大学、愛媛大学、香川大学

## 第4回四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク

日程：2014年6月20日 場所：徳島大学 産学官連携プラザ

【講演】 題目：大学における安全保障輸出管理制度について

講師：CISTEC輸出管理アドバイザー 橘 善輝 氏

【ミーティング】

参加大学：徳島大学、鳴門教育大学、愛媛大学、高知大学、香川大学

## 活動状況（2）

### 第5回四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク

日程：2014年10月17日 場所：神戸大学

【神戸大学視察】内容：神戸大学の輸出管理の取組について

参加大学：徳島大学、愛媛大学

### 第6回四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク

日程：2014年12月9日 場所：徳島大学 藤井節郎記念ホール

【講演】題目：大学医学系の安全保障輸出管理

講師：大阪大学特任教授・安全保障輸出管理アドバイザー 橘 善輝 氏

参加大学：徳島大学、鳴門教育大学、愛媛大学、九州大学

### 第7回四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク

日程：2015年5月21日 場所：徳島大学 産学官連携プラザ

【講演】題目：大学における安全保障輸出管理制度について

講師：CISTEC輸出管理アドバイザー 森本 正崇 氏

【ミーティング】

参加大学：徳島大学、鳴門教育大学、愛媛大学、香川大学

### 第8回四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク

日程：2016年7月25日 場所：徳島大学 産学官連携プラザ

【講演】題目：大学における安全保障輸出管理制度について

講師：CISTEC輸出管理アドバイザー 森本 正崇 氏

【ミーティング】

参加大学：徳島大学、鳴門教育大学、愛媛大学、香川大学



## 活動状況（3）

### 第9回四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク

日程：2016年12月16日 場所：徳島大学 産学官連携プラザ

【講演】 題目：安全保障輸出管理の概要と材料分野の該非判定（材料加工系・先端材料系を含む）について

講師：安全保障貿易管理士（総合）・シグマサポートオフィス 橘 善輝 氏

【ミーティング】

参加大学：徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、高知大学、高知工科大学、愛媛大学

### 第10回四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク

日程：2017年7月21日 場所：徳島大学 産学官連携プラザ

【講演】 題目：大学における安全保障輸出管理制度について

講師：CISTEC輸出管理アドバイザー 森本 正崇 氏

【ミーティング】

参加大学：徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、高知大学、愛媛大学

# 第11回四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク

日程：2017年12月11日 場所：香川大学 幸町キャンパス 研究交流棟

## 【内容】

- 講演テーマ：安全保障貿易に係る機微技術管理ガイダンス(大学・研究機関用)第三版の概要  
講師：経済産業省 貿易経済協力局 貿易管理部 安全保障貿易管理課 上席安全保障貿易検査官 田守 光洋 氏
- 講演テーマ：長崎大学における安全保障輸出管理の取組み  
講師：長崎大学 研究国際部コーディネーター 兼  
経済産業省 安全保障貿易自主管理促進アドバイザー 河合 孝尚 氏
- ネットワークミーティング

## 【参加者】

経済産業省、四国経済産業局、近畿経済産業局、中国経済産業局、長崎大学、徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、高知工科大学、阿南工業高等専門学校、香川高等専門学校、新居浜工業高等専門学校



経済産業省からの講演



ネットワークミーティング

# 第12回四国地区大学安全保障輸出管理ネットワーク

日程：2018年7月6日 場所：徳島大学 産学官連携プラザ

## 【内容】

- ・講演テーマ：技術提供の基礎及び管理 大学編  
講師：一般財団法人安全保障貿易情報センター（CISTEC） 参与 新留 二郎 氏
- ・ミーティング

## 【参加者】

四国済産業局、徳島大学、鳴門教育大学、愛媛大学、香川大学



新留氏（CISTEC）からの講演



ネットワークミーティング

## 四国地区大学への支援（許可申請補助）

- 平成27年9月  
香川大学の該当貨物の許可申請補助を実施。

貨物名：赤外線カメラモジュール

目的：試作品の展示のため

仕向地：シンガポール



貨物名	判定結果	輸出令別表第1
赤外線カメラモジュール	該当	第10-(2)項 第10-(4)項



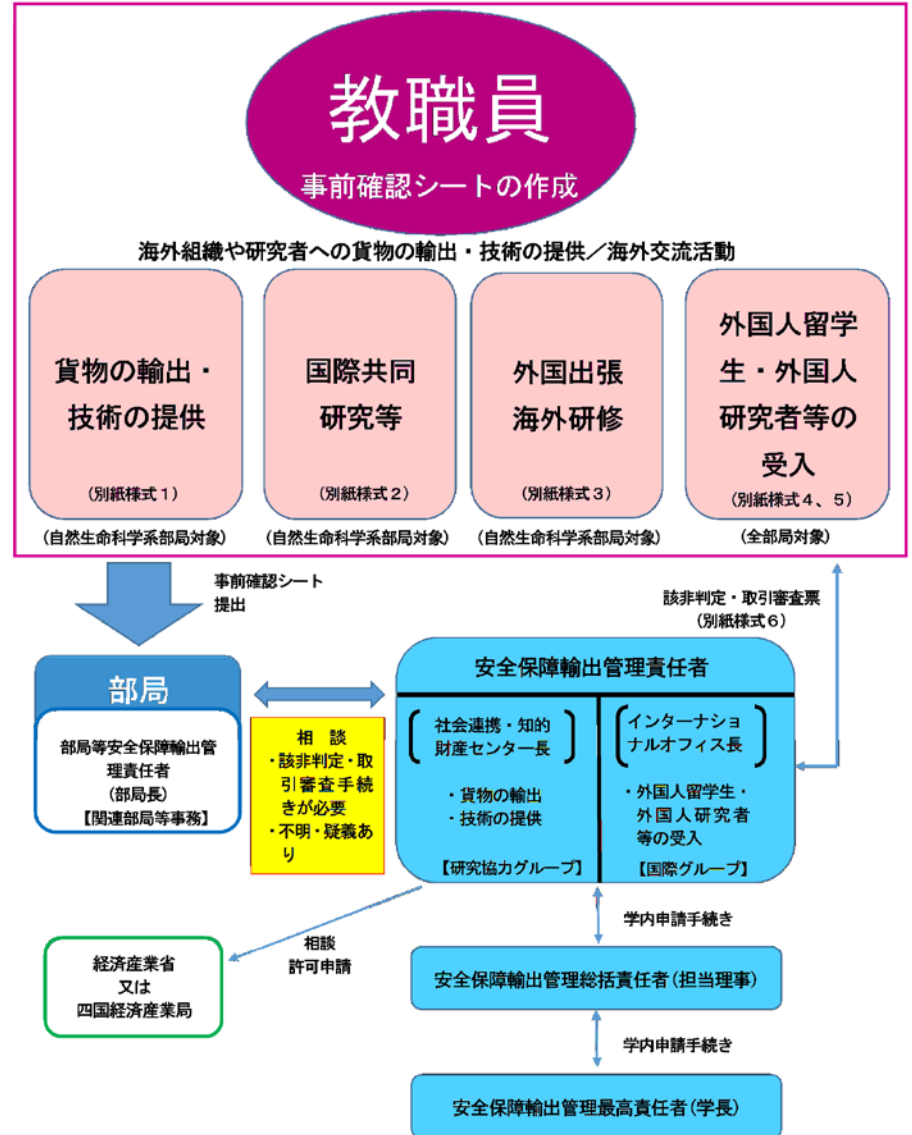
個別許可申請

輸出可。無事に試作品を持参し、展示会に参加

# 四国地区大学への支援（体制整備）

## 香川大学における安全保障輸出管理の流れ

- 香川大学における輸出管理規則の制定や体制整備をサポート。
- 平成28年11月：国立大学法人香川大学安全保障輸出管理規程を施行（試行実施）
- 平成29年 4月：輸出管理を本格実施

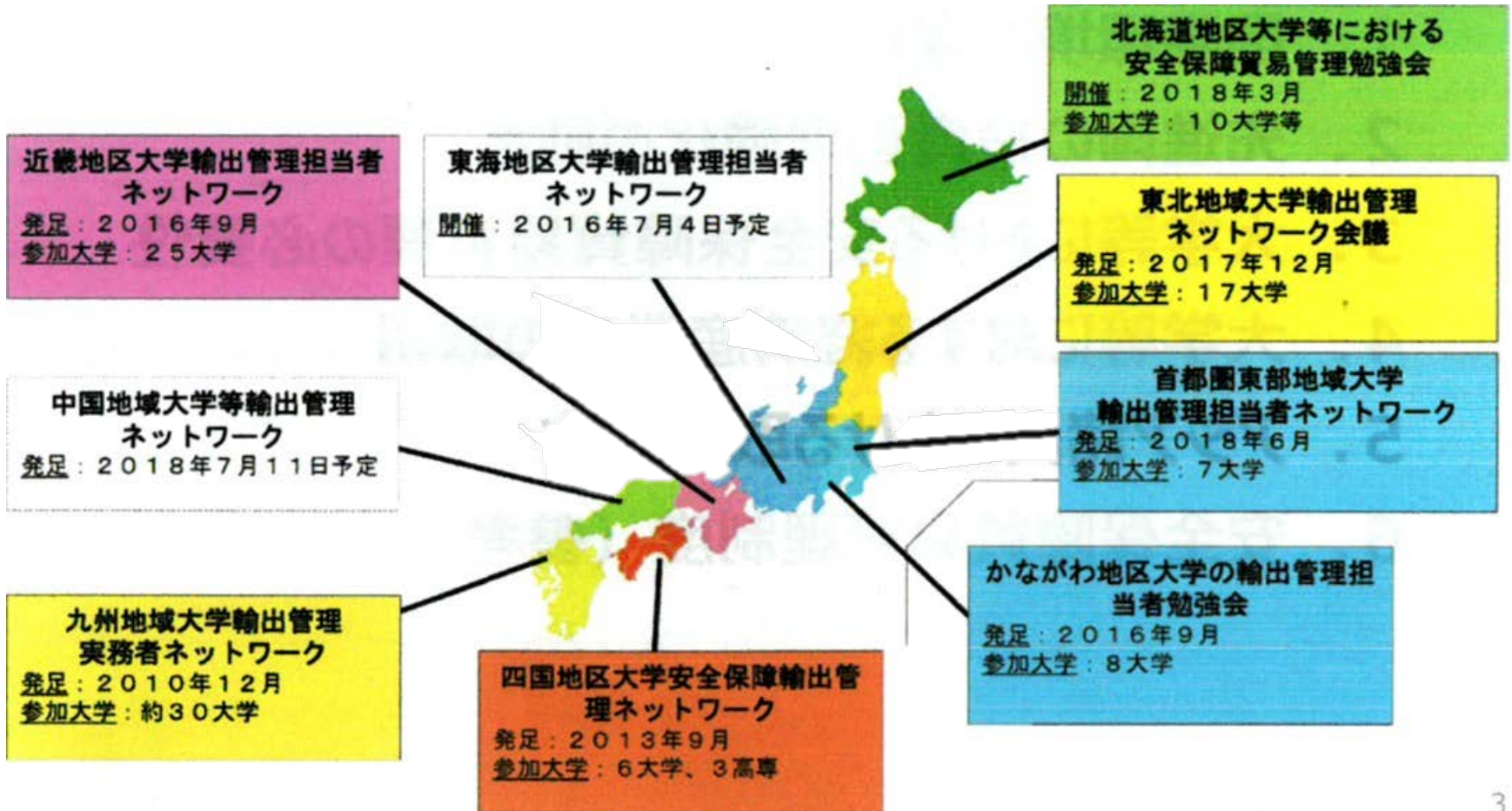


## 考察

- 地方大学では支援人員も少ないが、案件数も多くない。（知識不足・経験不足になりがち。）
- 必要に応じて関係機関との連携することは、専門人材の不足を補うため重要である。
- 近い地域での連携が距離的にも効果的。（地域ネットワークは有効だと考えられる。）
- 秘密情報をやり取りする場合は注意が必要。
- 継続的に連携できる体制を構築することが必要である。  
（費用や評価は？アドバイザー派遣？一法人複数大学？）

# 全国の大学間ネットワーク

## 大学間ネットワーク

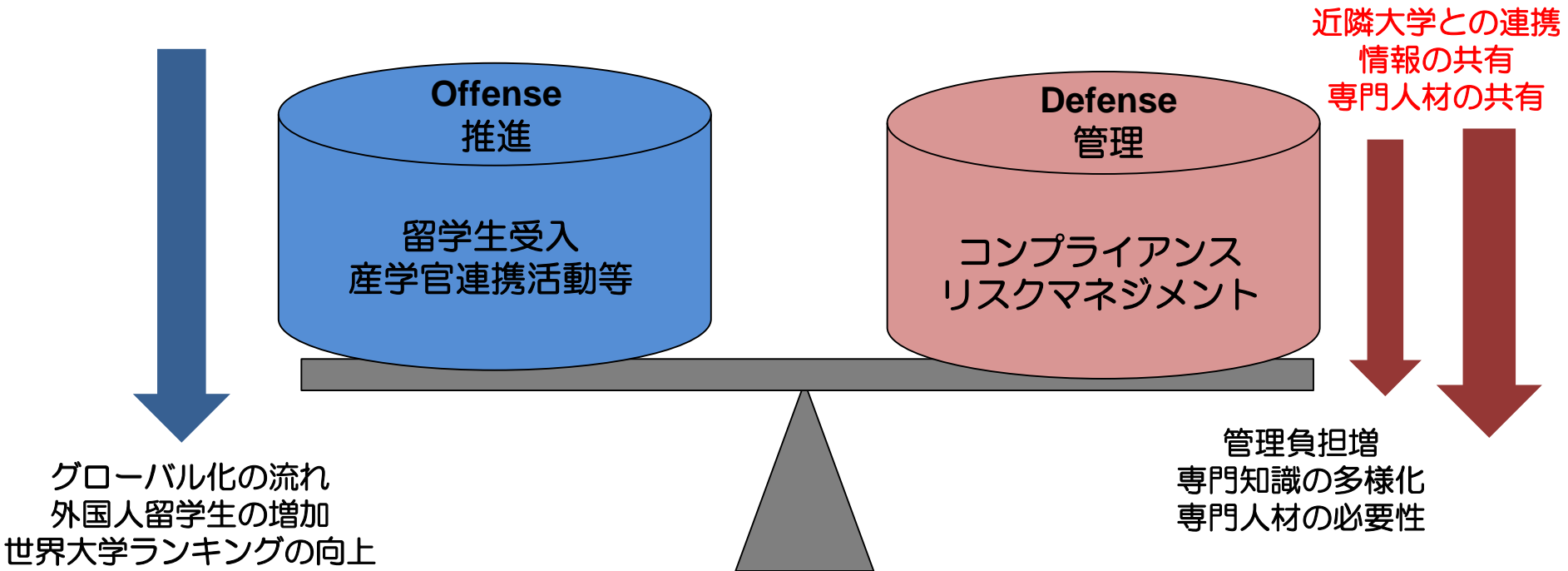


# 輸出管理体制整備・運用までのフロー

	大学の キーパーソン	安全保障貿易管理 自主管理促進 アドバイザー (経済産業省事業)	一般財団法人 安全保障貿易情 報センター (CISTEC)	地域大学等 輸出管理 ネットワーク
<p>トップへの説明</p> <p>体制・規程整備</p> <p>全学周知・説明</p> <p>運用開始</p>	<p>主担当</p> <p>↓</p> <p>専門人材</p> <p>↓</p>	<p>体制整備・効果的運用 に関する伴走支援</p> <p>↓</p>	<p>専門的支援 (有料)</p> <p>↓</p>	<p>地域大学に おける連携</p> <p>↓</p>



# 最後に



- 輸出管理体制の整備は、大学の国際化の推進に必ず必要です。
- 学内体制の整備や関係機関との協力体制を構築し、バランスを維持して国際化を推進しましょう。

ご清聴ありがとうございました。

【お問い合わせ】

徳島大学 研究支援・産官学連携センター  
副センター長・准教授 井内健介

TEL：088-656-7023

Email：inai.kensuke@tokushima-u.ac.jp

HP：http://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/